

安全で安心できる水を供給 水のオンリーワン企業



株式会社光明製作所

日本全国5200の地域で使用

光明製作所は昭和22年の設立以来、道路へ布設されている水道管から、各家庭に水を供給するために使用する継手、止水栓等の給水器具を生産してきた。給水器具は寒い地域や暖かい地域、平地や山地等によって、使用条件が変わってくる。そのため、自治体ごとに使用される器具が違う。つまりオーダーメイドで作れることが重要になる。当然、多品少量生産への対応が必須となるが、当社では設計から製造、機械加工、組立、検査まで一貫した体制を構築することで、その地域に合わせた給水器具が提供できる。結果、日本全国520を超える地域で行政の許可を得るまでになった。

廃棄するしかなかった 仮設管をリサイクル

環境意識の高まりに伴い、環境に優しいリサイクルシステムである「リユーズシステム」を導入していることも同社の特長だ。水道管の布設替え工事等で、断水せずに入れ替えを行う場合、仮設管を用いて施工され、従来工法であれば入れ替え後、仮設管は廃棄されていた。これを何度



でも利用できるようにしたのが同社のリユーズシステム。「仮設管も貴重な資源。なんとか再利用できないかと考えた」と金村時喜社長は言う。このシステムは、使用後の仮設管を工場に持ち帰り、洗浄、殺菌、検査をして再度使用するもの。仮設管が必要な時に必要な期間だけ使用できるようにしたことで、廃棄物の問題を解決したうえにコスト削減につながった。さらに寿命を終えた仮設管は粉碎し、ペレット化することで、表示杭や埋設標識シートとして生まれ変わる。

このリユーズシステムは平成16年、関西ビジネス協議会において、「NBK大賞」、平成17年「大阪フロンティア賞」、平成18年財団法人日本ユニビジネス協議会において「JNB大賞・優秀賞」を受賞し、東京、千葉、埼玉等関東圏で採用が決まるなど、確実に評価を上げている。

水道局も保有していない 検査装置を駆使

既に各方面で高い評価を得ている当社だが、高い品質を維持し続けるための努力は怠らない。すべての製品にQRコードを付け、製品管理を徹底する一方、プラズマ発光分析装置、発光分析装置、精密万能試験機を保有し、検査装置を駆使して、品質管理に万全を期している。

最近では事業分野拡大の一環として、防災事業への取り組みを始めた。地震など「もしも」の時に備え、飲料水を確保するため、公園等の緊急貯水槽に接続して利用する

「時代によって必要とされるものは変わります。そのため、この変化に対応することが重要です。当社も水道から防災まで事業を広げてきましたが、「水をコア」とすることは今後も変わりません。この分野だけどこにも負けない、こういう気概が大阪のものづくりの原点です。当社は水のオンリーワン企業『小さな巨人』を目指しています」と金村社長の言葉に力がこもった。

「時代によって必要とされるものは変わります。そのため、この変化に対応することが重要です。当社も水道から防災まで事業を広げてきましたが、「水をコア」とすることは今後も変わりません。この分野だけどこにも負けない、こういう気概が大阪のものづくりの原点です。当社は水のオンリーワン企業『小さな巨人』を目指しています」と金村社長の言葉に力がこもった。

主な事業内容

水道器具、給水栓、給水器具一式の製造・販売、PPジョイントレンチ、仮設配管資材「リユーズシステム」、応急給水栓、戸別メータユニット、ボール式止水栓、栓の製造・販売等



金村時喜さん
代表取締役

株式会社光明製作所

Company Profile

住所 〒544-0025
大阪府大阪市生野区生野東3-10-18
設立 昭和22年12月
資本金 2,000万円
従業員 73名 (平成21年1月現在)
TEL 06-6731-2031
FAX 06-6715-1737

ISO 9001
ISO 14001

<http://www.komei-ss.co.jp/>

